



# 各務原警察署通信

令和5年8月9日

発行：各務原警察署交通課（058-383-0110）



## オートバイの交通事故防止！

例年、8月から秋の行楽期にかけて、オートバイ乗車中の交通事故が多発する傾向にあります。

長距離運転の疲れによる不注意事故を起こさないよう、以下のポイントに配慮して安全運転を心掛けてください。

### ① 余裕を持った運転計画と、休憩場所の確認を

行楽期で通行車両が増加しますので、各地で渋滞の発生が予測されます。運転中の疲れがたまらないよう、「道の駅」などの休憩場所を事前に確認しておき、長距離・長時間運転にならないよう、余裕ある運転計画を立てましょう。



### ② 疲れをためないよう、こまめな休憩を

長時間の運転は疲れがたまり、また暑さ等から注意力・集中力が低下して、運転操作ミスから思わぬ事故に繋がります。

こまめに休憩をとることを心掛け、気分も身体もリフレッシュしながら運転することを心掛けましょう。

### ③ 乗車時はプロテクター等の確実な着用を

オートバイ事故にかかる死者・重傷者の身体の損傷主部位は、胸部損傷の割合が高く、死傷者のほとんどがプロテクター非着用となっています。

オートバイに乗車する際は、ヘルメットを正しくかぶるとともに、長袖長ズボン、グローブ、プロテクターや乗車用ブーツを確実に着用して、身体を守りましょう。



### ④ 運転技術を過信しない

年齢別の死傷者数では、年齢30歳代以下の若年層と比べ、年齢40歳代以上の中・高年層の割合が高くなっています。

運転経験年数による自身の運転技術を過信することなく、走行時は規制速度を守るとともに、カーブ手前では十分に減速するなど、常に安全走行を心掛けてください。

適度な休憩と安全運転で、楽しいツーリングを！